

平成31年度採用

群馬県公立高等学校教員選考試験問題

地 理

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

注 意 事 項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから9ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と番号順に重ねた解答用紙を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

1 「高等学校学習指導要領」(平成21年3月告示)について、下の(1)、(2)の設問に答えなさい。

(1) 次の文章は第2章第2節第2款第5「地理A」からの抜粋である。下の①、②の問いに答えよ。

1 目 標

現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、(A)との関連を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2 内 容

(1) 現代世界の特色と諸課題の地理的考察

ウ 地球的課題の地理的考察

3 内容の取扱い

(2) 内容の取扱いに当たっては、次の事項に配慮するものとする。

ア 内容の(1)については、次の事項に留意すること。

ウについては、地球的課題ごとに世界を広く大観する学習と具体例を通して考察する学習を組み合わせること。

① 空欄(A)に当てはまる語を答えよ。

② 下線部について、具体的に何に留意して取扱いを工夫すべきか答えよ。

(2) 次の文章は第2章第2節第2款第6「地理B」からの抜粋である。空欄(B)、(C)に当てはまる語を答えよ。

1 目 標

現代世界の地理的事象を(B)に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて(C)に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2. 地形と気候について、下の(1)～(3)の設問に答えなさい。

(1) 次の図1は、茨城県南部の小貝川流域の地形図（2万5千分の1、一部改変）である。これについて、下の①、②の問いに答えよ。

図1

(国土地理院 1:25000 地形図「龍ヶ崎」により作成)

① 上の図1の太線Aで囲まれた地域に見られる小地形の名称を答えよ。また、この小地形の成因について、簡潔に説明せよ。

② 上の図1の小貝川右岸に着目し、水田が広がっている地域に見られる小地形の名称を答えよ。

(2) 次ページの図2は、世界のプレート分布を示したもので、(A)～(C)はそれぞれ形状の異なるプレートの境界を示している。(A)～(C)のプレート境界の模式図として正しいものを、次ページの図3のア～ウから1つずつ選べ。

☒ 2

☒ 3

(Diercke Weltatlas 2008, などにより作成)

- (3) ケッペンが提唱した仮想大陸上の気候区分を示した次の図4について、下の①～③の問いに答えよ。

図4

- ① 図4のX、Yは気候帯の境界を示した線である。X、Yは、それぞれどのような条件か、具体的に説明せよ。
- ② 図4のイ、オ、カに該当する気候区名を、それぞれケッペンの気候記号で答えよ。
- ③ ケッペンの気候区分は、地球規模の気候判定を前提にしているため、都道府県単位などの小さな地域の気候の判定には適さないという短所がある。それ以外の短所を1つ答えよ。

3 資源と産業について、下の(1)～(4)の設問に答えなさい。

- (1) 小麦、米、とうもろこしは三大穀物とよばれる。次の表1は三大穀物の生産上位国、表2は輸出上位国を示したものである。ア～ウの穀物名とa～dの国名を答えよ。

表1

	ア	イ	ウ
1位	a	b	b
2位	b	c	c
3位	ブラジル	インドネシア	ロシア
世界計	10億3,779万トン	7億4,148万トン	7億2,901万トン

統計年次は2014年

表2

	ア	イ	ウ
1位	ブラジル	c	a
2位	a	d	カナダ
3位	アルゼンチン	ベトナム	フランス
世界計	1億2,422万トン	3,713万トン	1億6,280万トン

統計年次は2013年

(『地理統計要覧2018年版』により作成)

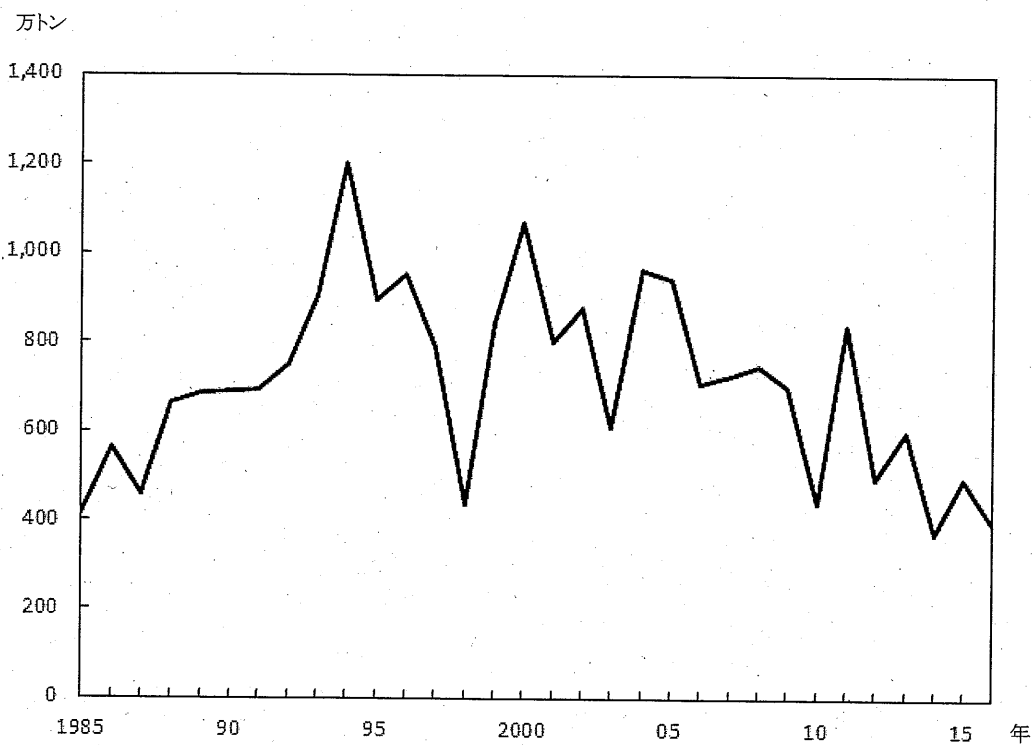
- (2) 次の表3は、2016年における水産物の漁獲量上位5か国及びペルーを示したものである。表3の(A)に該当する国名を答えよ。また、下の図1は、ペルーの漁獲量の推移について示したものである。ペルーの漁獲量は、1990年代半ば以降、とくに激しく変動している。その理由を説明せよ。

表3

順位	国名	漁獲量(トン)
1位	(A)	81,529,159
2位	インドネシア	23,200,421
3位	インド	10,785,334
4位	ベトナム	6,420,471
5位	アメリカ合衆国	5,375,386
9位	ペルー	3,911,989

(GLOBAL NOTE により作成)

図1



(FAOSTAT などにより作成)

- (3) 次の表4のア～ウは、地熱発電量、太陽光発電量、風力発電量のいずれかの上位5か国と発電量の国別割合(%)を示したものである。地熱発電量に該当するものを、表4のア～ウから1つ選べ。また、それを選んだ理由を説明せよ。

表4

ア	イ	ウ
アメリカ合衆国 (27.3)	中国 (31.0)	ドイツ (21.6)
フィリピン (14.8)	アメリカ合衆国 (17.8)	中国 (16.0)
インドネシア (10.6)	ドイツ (10.6)	日本 (13.2)
メキシコ (8.0)	スペイン (6.2)	イタリア (10.5)
ニュージーランド(8.0)	インド (6.1)	アメリカ合衆国 (10.3)

() 内の数値は発電量の国別割合、統計年次は2014年(地熱発電のみ2015年)

(IEA資料などにより作成)

- (4) 次の①～④の都市では鉄鋼業が発達した。このうち立地した条件が他の都市と異なる都市が1つある。その都市を①～④から1つ選べ。また、選んだ都市と他の都市との立地条件の違いについて、下に示す□内の語をすべて使用して説明せよ。なお、語は繰り返し使用してもよい。

- ① アンシャン ② ジャムシェドプル ③ ピッツバーグ ④ フィラデルフィア

原料 臨海 交通 指向

- 4 人口、生活文化、民族・宗教について、下の(1)～(3)の設問に答えなさい。

- (1) 産業別人口構成について、下の①～③の問いに答えよ。

- ① 表1のア～ウは、インド(2012年)、中国(2015年)、カナダ(2016年)のいずれかの国の産業別人口構成を示したものである。それぞれどの国に当たるか、国名を答えよ。

表1 (%)

	ア	イ	ウ
第1次産業	28.3	47.1	1.6
第2次産業	29.3	24.8	19.6
第3次産業	42.4	28.1	78.8

(『データブック オブ・ザ・ワールド2018』により作成)

- ② 表1のア～ウの国の産業別人口構成について、解答用紙の三角グラフを完成させよ。なお、凡例は以下のとおりとすること。

ア・・・○ イ・・・● ウ・・・×

- ③ 産業別人口構成について説明する際、三角グラフの読図のポイントをどのように生徒に説明するか答えよ。

(2) 永久凍土が広がる地域では、伝統的な住居にどのような工夫がなされているか、その理由とともに説明せよ。

(3) 次の表2は世界の宗教信者総数(千人)上位4宗教について、6地域別の構成比(%)を示したものである。この表に関する下の①～③の問いに答えよ。

表2

宗教名	信者総数	アジア	アフリカ	オセアニア	アンглоアメリカ	ヨーロッパ	ラテンアメリカ
ア	2,412,635	15.7	23.4	1.2	11.5	24.1	24.1
イ	1,701,295	68.4	28.5	0.0	0.3	2.7	0.1
ウ	984,673	99.2	0.3	0.1	0.2	0.1	0.1
エ	520,362	98.4	0.1	0.1	0.9	0.4	0.2

構成比の小数点2桁以下は四捨五入しているため、合計が100.0にならない場合もある。

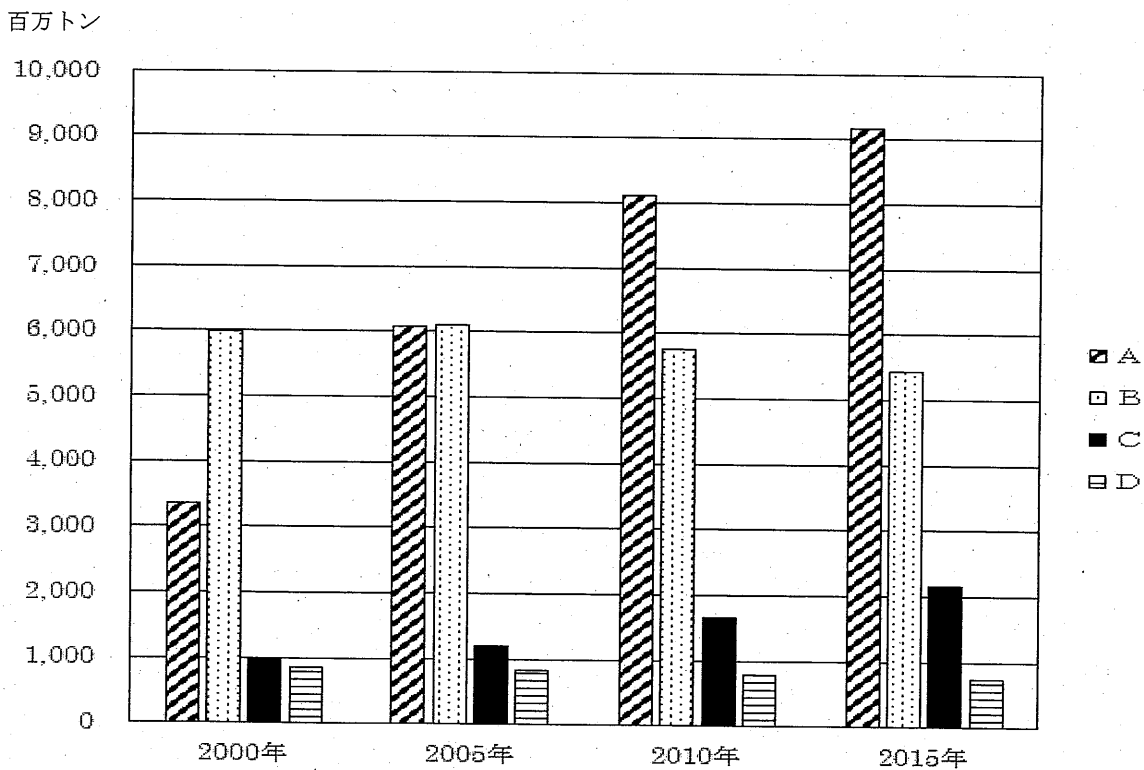
『ブリタニカ国際年鑑2016』により作成)

- ① 表2のア、エに当てはまる宗教を答えよ。
- ② 表2のイの宗教について、世界第1位の信者数を擁する国を答えよ。
- ③ 人種や民族を超越した教義をもつ宗教として適切な宗教を、表2のア～エからすべて記号で選べ。

5 地球的課題について、下の(1)～(6)の設問に答えなさい。

(1) 次の図1は国別の二酸化炭素排出量の推移を示したものであり、図1のA～Dは、アメリカ合衆国、インド、中国、ドイツのいずれかである。A～Dの国名を答えよ。

図1



(GLOBAL NOTE により作成)

- (2) サハラ以南のアフリカ大陸には、栄養不足とされる人口の比率が高く、食料問題が深刻となっている国が多くある。これらの国々で食料問題が深刻となっている理由を、歴史的な背景と経済構造に着目して説明せよ。
- (3) 次の表1は、日本、韓国、アメリカ合衆国、スウェーデンの合計特殊出生率(2015年)と65歳以上人口の割合(2017年)を示したものである。表1のアとウに当てはまる国名を答えよ。

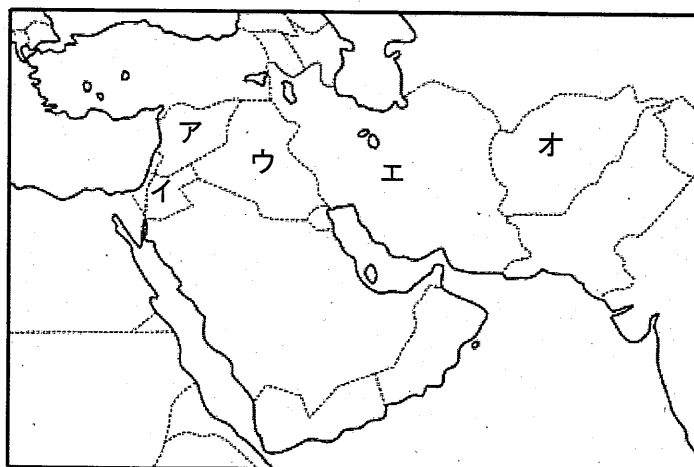
表1

	ア	イ	ウ	エ
合計特殊出生率	1.46	1.88	1.84	1.24
65歳以上人口の割合(%)	27.9	20.3	15.6	14.1

(『データブック オブ・ザ・ワールド2018』により作成)

- (4) 日本の人口問題に関して、下の①、②の問いに答えよ。
- ① 日本の中山間村、山村、離島などでは、過疎化や高齢化によって地域社会の維持が困難で存続が危ぶまれる状況に陥っている集落がある。このような集落は何とよばれているか答えよ。
- ② 過疎問題解決に向けて、生徒が具体的な提案を行う授業を实践したい。授業の導入の際、現在実践されている例を1つ提示することとした。この例として適切なものを1つ答えよ。
- (5) 先進国の都市では、近年公共交通機関が見直されてきており、パークアンドライドと呼ばれる交通システムの促進が図られているところがある。パークアンドライドの目的とそのシステムの内容を説明せよ。
- (6) 国際間の紛争、国内の政治や宗教をめぐる対立などが原因で、他地域への移動を余儀なくされた人々を難民という。2015年に200万人以上の難民が発生した国を、下の図2のア～オより2つ選び、それぞれ記号と国名を答えよ。

図2



6 次に示した図1および図2は、アフリカ大陸に位置するある2か国の領域を示した地図である。これらについて、下の(1)～(4)の設問に答えなさい。

図1 経度0度が通過するA国

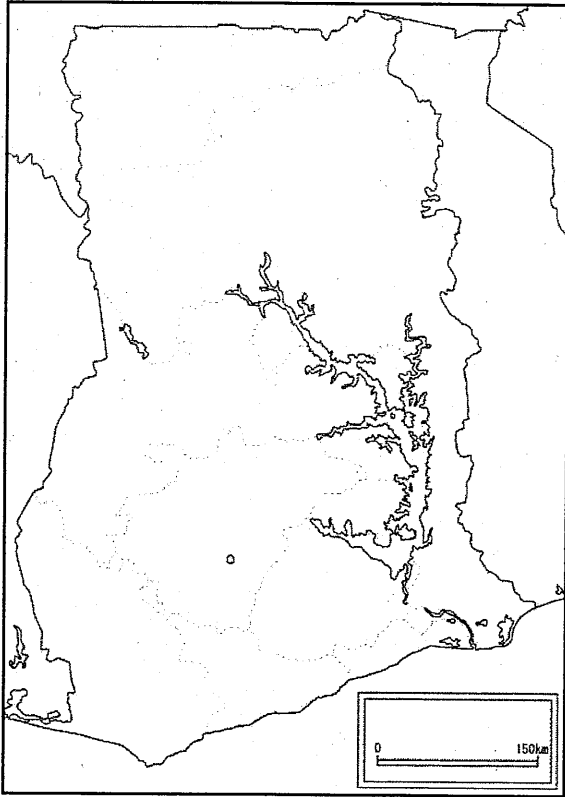
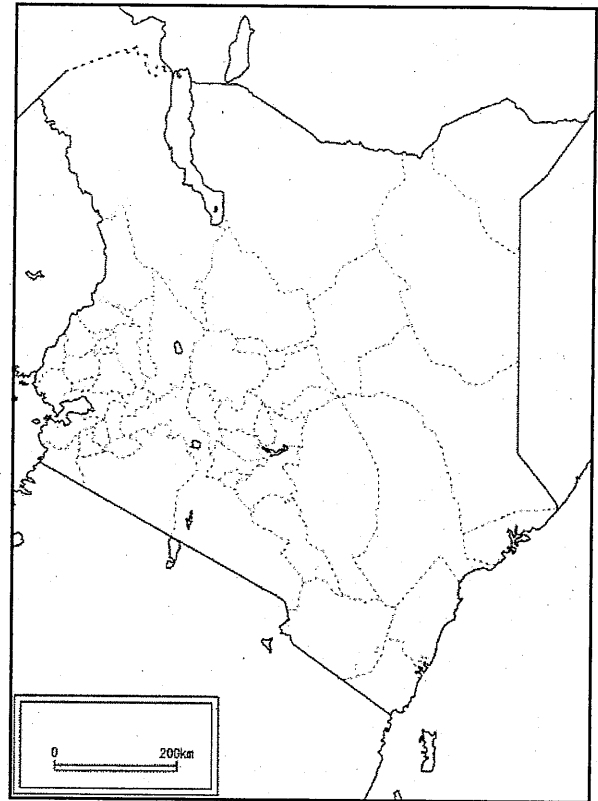


図2 緯度0度が通過するB国



- (1) A国、B国の国名と首都名をそれぞれ答えよ。
- (2) A国は1957年、B国は1963年、ともにヨーロッパの同じ宗主国から独立した。旧宗主国の名称を答えよ。
- (3) B国の公用語は2つある。うち1つはA国と共通の言語である。A国と共通しないもう1つの公用語を答えよ。また、その言語の特徴について歴史的背景を踏まえて説明せよ。
- (4) 次の表1は、モロッコ、ナイジェリア、A国及びB国における輸出額上位5品目を示したものであり、表1の①～③は、原油、衣類、切り花のいずれかである。①～③の品目名を答えよ。

表1

	モロッコ	ナイジェリア	A国	B国
1位	機械類	(②)	金(非貨幣用)	茶
2位	自動車	液化天然ガス	カカオ豆	(③)
3位	(①)	石油製品	(②)	野菜と果実
4位	肥料	船舶	カシューナッツ	(①)
5位	野菜と果実	液化石油ガス	木材	石油製品

統計年次は2016年

(『地理統計要覧2018年版』により作成)

科目 目	地理解答用紙	3 枚中の 1	受験 番号		氏 名	
---------	--------	---------	----------	--	--------	--

(31年)

1 (1)①A _____

② _____

(2) B _____ C _____

2 (1)①名称 _____

成因 _____

② _____

(2) A _____ B _____ C _____

(3)①X _____ Y _____

②イ _____ オ _____ カ _____

③ _____

3 (1)ア _____ イ _____ ウ _____

a _____ b _____ c _____ d _____

(2) A _____

説明 _____

(3)記号 _____

理由 _____

(4)記号 _____

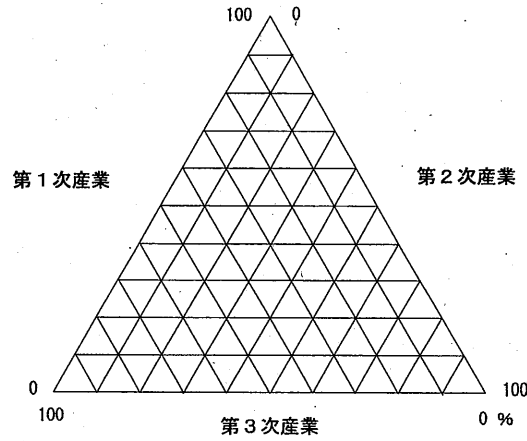
理由 _____

科目	地理解答用紙	3枚中の2	受験番号		氏名	
----	--------	-------	------	--	----	--

(31年)

4 (1) ①ア イ ウ

②



③

(2)

(3) ①ア エ

② ③

5 (1) A B C D

(2)

(3) ア ウ

(4) ①

②

(5) 目的

内容

科 目	地理解答用紙	3 枚中の 3	受験 番号		氏 名	
--------	--------	---------	----------	--	--------	--

(31年)

(6) 記号 国名 記号 国名

6 (1) A 国 : 国名 首都名

B 国 : 国名 首都名

(2)

(3) 公用語

特徴

.....

(4) ① ② ③

以下はあくまでも解答の一例です。

科目	地理解答用紙	3枚中の1	受験番号	氏名
----	--------	-------	------	----

(31年)

1 (1) ① A 日常生活 (2点)

② 環境、資源・エネルギー、人口、食料及び居住・都市問題は、それぞれ相互に関連し合っていることに留意して取扱いを工夫する。 (3点)

(2) B 系統地理的 C 地誌的 (各2点×2=4点)

2 (1) ① 名称 三日月湖 (2点)

成因 小貝川が氾濫を繰り返し現在の河道となり、旧河道として取り残されたのがこの湖である。 (2点)

② 後背湿地 (2点)

(2) A イ B ア C ウ (各1点×3=3点)

(3) ① X 最暖月平均気温10℃ Y 最寒月平均気温18℃ (各2点×2=4点)

② イ Df オ Cs カ BS (各1点×3=3点)

③ 大気現象を直接反映していないため、気候の地域的な違いが生じる原因を説明できない。 (2点)

3 (1) ア とうもろこし イ 米 ウ 小麦

a アメリカ合衆国 b 中国 c インド d タイ

(2) A 中国 (各1点×7=7点)
(1点)

説明 寒流を好むアンチョビの漁獲に大きく依存している。エルニーニョ現象が発生するとアンチョビの漁獲量が激減し、終息すると回復する。これを繰り返してきたため。 (3点)

(3) 記号 ア (1点)

理由 5か国ともに、国土内に多くの火山が分布する。狭まる境界の中で、海洋プレートが大陸プレートの下に沈み込む場所では、火山が形成され、地熱発電に有利である。 (3点)

(4) 記号 ④ (1点)

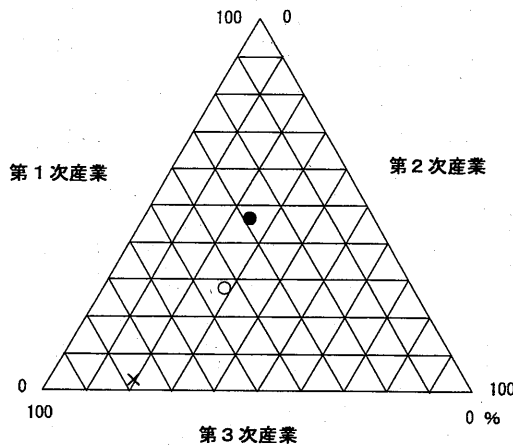
理由 ④は臨海部に立地する交通指向型の鉄鋼業都市である。一方、①～③は原料産地に立地する原料指向型の鉄鋼業都市である。 (4点)

科 目	地理解答用紙	3枚中の2	受験 番号	氏 名
--------	--------	-------	----------	--------

(31年)

4 (1) ① ア 中国 イ インド ウ カナダ (各1点×3=3点)

②



(○●×、各1点×3=3点)

③ 図の上方に位置するのは発展途上国、下方に位置するのは先進国と判断できる。一般的に国の発展度合いに応じてグラフ上の位置が上方から下方へ、そして底辺の左側へと向かう。 (3点)

(2) 住居で使用される暖房の熱で永久凍土が融解し、地盤が緩くなって住居が倒壊することを防ぐために、高床式となっている。 (3点)

(3) ① ア キリスト教 エ 仏教 (各2点×2=4点)

② インドネシア (2点) ③ ア・イ・エ (完答1点) (計3点)

5 (1) A 中国 B アメリカ合衆国 C インド D ドイツ (各1点×4=4点)

(2) ヨーロッパ諸国による植民地支配の名残から、特定の一次産品の輸出に依存するモノカルチャー経済を特徴とする国が多い。そのため、自給用作物よりも輸出用作物の生産が優先されたことが、食料不足の一因となっている。 (4点)

(3) ア 日本 ウ アメリカ合衆国 (各1点×2=2点)

(4) ① 限界集落 (1点)

② (例) 一村一品運動 (2点)

(5) 目的 交通渋滞や大気汚染の緩和、二酸化炭素排出量の削減 (2点)

内容 自宅から自動車を利用して郊外にある駅やバス停に行き、自動車を近くの駐車場にとめ、そこから鉄道やバスに乗り換えて目的地に移動する交通システムである。 (3点)

科目	地理解答用紙	3 枚中の 3	受験番号		氏名	
----	--------	---------	------	--	----	--

(31年)

(6) 記号 ア 国名 シリア 記号 オ 国名 アフガニスタン

(各2点×2=4点、記号と国名で完全解答、左右は順不同)

6 (1) A国：国名 ガーナ 首都名 アクラ

B国：国名 ケニア 首都名 ナイロビ (各1点×4=4点)

(2) イギリス (1点)

(3) 公用語 スワヒリ語 (1点)

特徴 現地のアフリカ系言語に、インド洋交易を担っていたムスリム商人がもたらしたアラビア語の要素が加わって成立した。 (3点)

(4) ① 衣類 ② 原油 ③ 切り花 (各1点×3=3点)